

「ライン河畔より」

「あなたは生まれ故郷 父の家を離れて わたしが示す地に行きなさい。」

創世記12章1節

ホームページ <http://www.ryokosasaki-missionary.com> フェイスブック <https://www.facebook.com/koeinbonn.jp>

ご挨拶 Guten Tag!



主の聖名を賛美いたします。日本はいよいよ本格的な夏を迎えていると思いますが、いかがお過ごしでしょうか。ドイツは1年中で一番美しい季節を迎えています。このような素晴らしい時は限られていますので、笑われてしまいますが今のうちから秋～冬に向けて備えるために、一所懸命太陽をたくさん浴びて、心と身体にこの恵みを蓄えさせているところです。

こちらに赴任して2年目に入りました。これまでの1年間、宣教のために、そして私の日常生活のためにお祈りとお支えてくださっている全ての方々に、心より感謝すると共にお礼を申し上げます。

1年目は見るもの・聞くもの、何もかも初めてで無我夢中でしたが、現在は幼子が離乳食を終え、両親以外の人々と出会って新しい世界が広がっていくような状態です。今年に入ってから思いもよらない様々な新たな出会いが与えられて、福音の輪が広がっているような気がします。このような状況が教会にとってどのような意味を持ち、私たちはどのように導かれていくのか今は分かりませんが、目に見えることに一喜一憂することなく、与えられた神の恵みをかみしめながら主にお従いし、養われていきたいと願っています。「人間の心は自分の道を計画する。主が一步一步を備えてくださる。」(箴言16章9節)の御言葉が心に染み入ります。これからも引き続きお祈り頂けると幸いです。

心寄せてくださっている皆さまの上に、主の豊かなお恵みが更にありますようにお祈り申し上げます。

Viel Glück

恵みの近況

ケルンボン日本語キリスト教会役員 藤井隼人兄

主の御名を讃美致します。日頃佐々木良子牧師、ケルン・ボン日本語キリスト教会（KB教会）のためにお祈り、ご支援を頂き、心より感謝申し上げます。佐々木牧師をお迎えして早や1年と3ヶ月が経ちました。以下恵みの近況です。

3月、佐々木先生の1ヶ月間の日本での宣教報告は、大変過密なスケジュールと感じていた私たちは少なからず心配し、毎日先生の健康が守られますようにと祈っていました。しかし先生は、皆様の熱い応援と沢山の恵みを受けてお元気にドイツへ戻って来られました。日本での様子を伺いながら、先生の当地での伝道への情熱と使命感、タフネス、めげない明るさに改めて感謝した次第です。

イースター礼拝には、若いお母さんと乳児の洗礼式が行われ、新しいクリスチャンホームが誕生しました。佐々木先生は、このご一家を中心に『ママの子育ての学び会』を最近牧師館でスタート、国際カップルも交えた楽しい集いが育ちつつあります。これは聖書から子育てを学び、又、悩み等を話し合う会ですが、これまで教会とは馴染みのなかった方々が多く、いきなり礼拝にお誘いすることは控えておられます。

先日、年一回の野外礼拝にその方々が5家族ほど、先生の誘いに応じて参加され、私たちは目を見張りました。緑の木々が茂る中、青空と芝生の自然に囲まれ、木漏れ日の下での礼拝でしたが、先生手作りの紙芝居を用いての聖書のお話に子どもたちも熱心に聞き入っていました。その後持ち寄りの豊かな食事を皆で頂き、大人も子どもも一緒にゲームをして楽しく過ごしました。佐々木先生が母親であり、子育ての経験者であることが若いママたちに安心感や親しみを持って頂ける元になっているのでしょう。とても嬉しそうに若い家族と接しておられる姿に私たちは先生の祈りを感じ、励まされ、心が暖まりました。この若い方々が教会に繋がり、いつの日かイエスを主と告白されることが出来ます様にと祈っています。このように佐々木先生の企画・実行力には只々感謝の一言です。何処に行かれても、誰に会われても、先生の信仰の熱心が相手に伝わるようです。7月14日には、『支える会』の会員3名の方々がKB教会の礼拝に出席されると伺い、心待ちにしています。どうぞ引き続き、佐々木牧師のため、KB教会のためにお祈り下さいますよう、お願い致します。

主に在って



これまでの主な歩み

★ 日本へ一時帰国・宣教報告 2月28日～3月30日



前任地 小松川教会にて

日本基督教団の教会を中心に主日礼拝・祈禱会など14の集会が与えられ、御言葉の執り継ぎ・宣教報告をさせて頂きました。ドイツの様子がよく理解でき、又、身近になった等のご意見をお聞きすることができました。小さなエキュメニカル運動の一つとしてドイツと日本のそれぞれ学べるところ、取り入れることができるものが調和できるよう願っています。滞在中の宿を提供してくださったO先生を初め、多くの犠牲をもって招いてくださった教会の先生、皆さまに改めて心からお礼申し上げます。

前回のニュースレターで少し触れましたが、日本から多くのご支援を頂いていることの申し訳

なさ故に心苦しさを覚えていましたが、ある方が「捧げられることができるのが、私たちの喜びだから」と、仰ってくださり慰められました。「受けるよりは与える方が幸いである」との御言葉に生きておられ、私もそのような者になりたい！と教えられました。

色々な葛藤の中での一時帰国でしたが、私自身の内なるものを見つめ直す機会となりました。ドイツで一年間生活している内に少しずつ独り善がりの小さな世界に埋没し、自分に都合の良い牧師になっていることに気づかされ、再献身の思いでドイツに戻ってきました。日本の教会のためにも尚、祈っております。

★ イースター 転入会式・洗礼式 4月16日



T兄の転入会式とご婦人のM姉、そして生後6か月のYちゃんの洗礼式を恵みの内に執り行うことができ、教会中が大きな喜びと感動に包まれました。この日はドイツ人の方々との合同礼拝でしたので、インターナショナルな祝福の時となりました。新しく誕生したクリスチャンホームが教会の活力となり、私たちもたくさんの幸いを頂いています。M姉は引き続き学びにいらしています。将来、お子さんに聖書の事を教えたい！とのことでした。感動です。

★ キルヘンターク・ドイツプロテスタント教会大会 5月24日(水)～28日(日) ベルリン・ヴァイテンベルク

プロテスタントのものではドイツ最大の大会で、2年に1度開催され場所は毎回異なります。今年はルターの宗教改革500年を記念して「あなたは私を見ている」(創世記16:3)の主題のもと、ベルリン市内で礼拝、講演会、ディスカッション、コンサート等2500のプログラムの中、108カ国が参加しました。オバマ前アメリカ合衆国大統領・メルケル首相の会談は今後の民主主義、若い世代が担う責任、社会貢献、難民問題がテーマだったことが大きく報道されていました。又、この大会のために新たに讃美歌などが作曲されたようで、思わず口ずさむことができるリズムカルな賛美が多かったです。



約12万人が参加した閉会礼拝の会場は強い陽ざしの下、ヴァイテンベルク駅から歩いて1時間ほどのエルベ川沿いの野原でした。「面と向かって」というテーマのもと、「ルターは民主主義が意図する自由を作り出した先達の一人である」と述べ、「宗教改革は神学上の変換点ではあったが、政治的、社会的発展にも大きな影響を与えた。しかし、これは過去のことだけではなく、これからの500年におけるGPSとなるであろう。」という説教内容で、最後は聖餐式が執り行われ、主にあって一つということに心を刻みながら5日間の幕を閉じました。

★ ペンテコステ 日独語合同礼拝・祝会 6月4日

年に数回主要な礼拝で日独語礼拝を守っていますが、説教のドイツ語訳をプロジェクターを用いてドイツ人等の方々にも説教の内容を理解して頂けるようにしています。翻訳者のために説教原稿を10日以上前に準備して頂く必要があるため、先生に少なからぬ負担をお掛けすることになりますが、日本語を話されない方々には大好評です。

祝会の席で、ドイツ人のF姉は『日本語を話せない私の夫も同時進行で今日の説教を理解することができ、とても嬉しかったです。これこそ正に、聖書に書かれているペンテコステの出来事(“霊”が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話し出した。)に相応しいことだと思いました。』と喜んでいました。(藤井隼人兄記)

★ ママの子育ての学び会 毎月1回

聖書に基づくテキスト使用して2月から始まりました。子育てのみならず自分育てにもなります。お母さん方の思いを通して、私自身の学びの場にもなっています。悩みなど分かち合いながら、聖書のお言葉に少しずつ触れています。いずれの日か、イエスさまに出会って主に頼ることができればと願いつつ携わっています。スタートしたばかりですがママたちがお友だちを誘ってくださり、力強い協力者が何人も誕生しました。人の輪ってそうして広がっていくのですね。頼もしい伝道者がたくさんで嬉しいです。

★ 野外礼拝 6月11日



爽やかな天気の下、ママの子育ての学び会にいらしている方々とそのご家族が参加してくださり礼拝の後、ゲーム、ピクニックを楽しみました。教会の方々の美味しい手料理もとても喜ばれました！

★ 大人と子どもの合同礼拝 7月2日
小塩節先生ご夫妻来訪

小塩先生ご夫妻がいらしてくださった日は初めての合同礼拝でした。お疲れを微塵も見せず終始持ち前のユーモアで励まされました。きっとドイツの空気を吸って力を得られたと思います。来年もお待ちしています。

◆ これからの新たなプログラム！

～ママの子育て会の学びに集っている方々のステップアップ～

♪ 子どもと大人の合同賛美礼拝(8月より)

子どもの礼拝から、母の日礼拝・野外礼拝へと少しずつ教会へと繋がってきました。教会の雰囲気馴染めるように、第4日曜日に行っている賛美礼拝を子どもと合同にしました。

♪ ファミリーコンサート

プロの音楽家、そして音楽好きな方々を主は備えてくださり、皆さまもやる気満々なので秋ごろに開催できればと願っています。

祈りの課題

1. 教会に語られる主の御声をお聞きすることができますように
2. 教会員の方々の信仰が恵まれ、成長していけますように
3. 子どもの礼拝・ママの子育て学び会に集っている方々が、信仰をもつことができますように
4. 新たなプログラムが次のステージへと展開できますように

今後の主な予定

8月3～6日	欧州キリスト者の集い ライプツィヒ
9月 30日	外国語教会協議会 合同夕礼拝
10月23～25日	欧州教職者研修会 南ドイツ
11月 1日	バザー ポンハッフアー教会にて
11月 26日	佐々木良子宣教師を支える会 バザー (日本・日本基督教団小松川教会)

実は今、私は・・・

情けなくお恥ずかしいのですが5月末、ベルリンでのキルヘンタークに参加中に躓いて転倒しました。楽観視していましたがつい最近、膝の後十字靭帯を痛めていることが分かり、簡易ギプスで3週間固定しその後、サポーターに切り替えての治療となりました。ギプスといってもコルセットのようなもので、足の自由は少し利くのでスローリズムで生活をしています。じっと忍耐の時です…ギプスで固定する前日までは34度という猛暑でしたが、その日から10度以上も温度も下がり主は助けてくださってます。感謝！

❤️ 大勢の天使に囲まれて ❤️

私の不注意で教会の方々や廻りの方々にご心配とご迷惑をおかけしてしまいましたが、この出来事を通してたくさんの愛・思いやりと優しさを携えた多くの天使たちを遣わしてくださいました。

整形外科で ～ドイツ人のおもいやり～

ケルンに戻り再度痛みに襲われたので意を決して、単語を調べ辞書を持参し、冷や汗をかきながら一人で病院に行きました。所が完全予約制なので3週間後だと言われ諦めかけましたが、「痛いので今、見て頂きたい！」と訴え続けたら受け付けて頂けました。初めは招かざる客でしたが、診察を終えるとその方が私の肩を摩りながら「大丈夫、心配ない」と、薬局や介護用品の店まで付き添ってくださいました。彼女の優しさに感動して私が知り得る感謝の言葉を並べているうちに涙がホロリ…。翌日にはMRIを撮るので通訳者を連れてくるよう言われたので、教会の方に付き添って頂きました。言葉の不自由な者が医者にかかるということは日本では考えられないほどの困難がありますが、助けてくださる方々の優しさが身に染み入ります。。

ベルリン・キルヘンターク閉会礼拝

～優しさと情熱が奇跡を！～

ホームステイ先の方のご親切により病院に連れて行って頂き、応急処置はして頂きましたが、会場までの長時間歩行は無理なので参加を諦めました。しかし、教会の方々が何とか一緒できるようにと、集会を犠牲にして何時間も費やして参加可能な手立てを探ってください、健常者ではない方々が利用できるバスがあるということが判明し、共に礼拝をささげることができました。

教会 ～心も身体もお腹いっぱい～

ギプスではエレベーターのない4階の自宅から外出は無理だろうと、役員の方々が中心となって礼拝のこと、生活の面を配慮してくださっています。ある程度膝の自由があるので、一歩ずつ昇り降りできるので礼拝に穴をあけずに済み、先日の礼拝では負担がないようにと、イスに座って説教をさせて頂きました。生活面では教会の方、近所の方々が助けてくださり、食事を運んでくださったり、買い物をしてくださったり、小さな冷蔵庫には食べ物がたくさんです。「先生、兎に角、無理は禁物です！何でも言ってください！」たくさんの愛にどのように応えたらよいやら…。

佐々木良子宣教師を支える会 会計報告 2015年12月～2017年6月

主に在って皆様の暖かいご支援を心から感謝いたします。

2015年12月～2017年3月

(単位：円)

2017年4月～2017年6月

(単位：円)

収 入	支 出
月額献金 4,956,000	宣教師支援金 1,795,408
特別献金 3,158,470	支援金(クリスマス) 144,000
コンサート席上献金 172,842	支援金(一時帰国旅費等) 300,000
クリスマス献金 144,000	社会保険料等 590,920
イースター献金 3,000	派遣・就任式費用 50,450
一時帰国宣教感謝献金 388,075	コンサート費用 142,139
雑収入(受取利息) 22	ニュースレター発行費用 57,785
	教会使用感謝献金 55,000
	事務通信費 130,945
	委員会費 5,110
	雑費 28,598
小 計 8,822,409	小 計 3,300,355
繰越金 0	次年度繰越金 5,522,054
合 計 8,822,409	合 計 8,822,409

収 入	支 出
月額献金 939,500	宣教師支援金 543,108
特別献金 60,000	支援金(一時帰国旅費) 9,008
雑収入(受取利息) 7	社会保険料等 49,320
	教会使用感謝献金 20,000
	事務通信費 2,937
	雑費 4,608
小 計 999,507	小 計 628,981
前年度繰越金 5,522,054	次月繰越金 5,892,580
合 計 6,521,561	合 計 6,521,561

献金者ご芳名 (敬称略・五十音順) 2017年2月～6月受領分

月額献金

相原美枝子 青池直録 朝位真士 朝位フミ子 東 愛子 厚母かね 阿部順子 阿部守利 阿部和子 池上恵子 石井泰子 石川徹 石川真知子 石崎孝司
糸魚川喜一 伊藤 愛 伊藤いく子 伊藤君江 伊藤恵子 伊東みどり 伊藤祐子 井深裕子 上田美智子 上田光正 牛山輝代 江坂宏子 榎本明子
榎本康治 大橋 章 大橋久美子 大淵美智子 岡崎 響 小塩トシ子 越智香歩理 加賀谷則子 鹿郷雄通 片山まどか 金子英市 金子民子 金子栄子
金坂久子 金田和芳 金森勝芳 神尾祐美子 川田裕生 川浪聖志 川浪麻理子 北野節夫 北野順子 北野 信 北野 拓 木原恵子 奇 老花
久多良木和夫 久多良木志津子 熊谷千鶴子 栗山照子 黒沢龍吉 黒沢咲子 小泉 誠 河野有紀 国府田祐人 小西妙子 小林興司 小林信夫 齋藤悦夫
齋藤喜江子 齋藤佐代子 栄 直美 相良径子 相良佳子 佐久間弘子 佐久間文雄 櫻井淳子 佐藤節子 佐藤フデ子 佐藤 誠 佐藤保太郎 佐野明子
澤田 武 澤田直子 澤田大河 澤田 拓生 蓐 清江 篠原照美 島田雅子 嶋 優子 島 隆三 島 静江 白井 均 白井昭子 神 和子 菅谷さと子
鈴木 勇 鈴木恵子 鈴木敏男 鈴木初子 鈴木信弘 鈴木優子 曾根邦彦 染野和美 高野加奈子 高島 毅 高島尚枝 高花富夫 瀧田茂子 田島俱子
蓼沼 貢 蓼沼百合子 田村久美子 辻浦健久 都築英夫 寺村智恵子 鶴巣香穂利 鶴巣和徳 中村岩城 中村廣子 永井美智子 西村倭子 坂井教子
坂井太一郎 野村啓二 原嶋和夫 平賀純子 深沢 修 深谷春男 深谷美歌子 福田芳雄 藤野洋子 藤本邦彦 藤本幸子 藤本三四四 藤本律子
藤森知子 星野 環 細田多恵子 細野紀久子 堀江直子 本田昌義 榎本早苗 明瀬真弓 松永映子 松丸香世子 松本幸子 皆川昌子 箕輪幸子 宮本和子
宮本清志 宮本峯子 宮本明美 村松紀子 室井信子 物井恵一 物井ますみ 森 浩 森川頌子 森田聖子 森山和彦 八重樫幸栄 八重樫福子 柳川義也
八巻君子 山口スミエ 山口紀子 山根芳枝 山崎広子 山下 誠 山畑咲子 山本房枝 横内希久子 横山義孝 横山勝よ 吉田陽子 吉本真理 嘉本 保
和海豊子 渡辺敬子 渡辺すみ子 渡部裕子 和田洋子

(団体) 荒川教会 小松川教会恒励会 小松川教会婦人会 塩谷一粒教会 清水が丘教会海外宣教会 日本キリスト伝道会 ホ群首都圏教師会 上諏訪教会婦人会

特別献金

越智香歩理 片石やすこ 黒澤愛子 佐藤 誠 瀧田茂子(イースター献金) 田尻可納子 都築正三 都築つゑ子 原田時近 原田明子 林 小百合 松井美代子
箕輪幸子 宮地多穂子 森 祥子 山根芳枝 (団体) 下谷教会

一時帰国宣教感謝献金

潮 義男 牛山輝代 浦川恵子 小澤(柏教会) 金森勝芳 久保田浩子 小宮元也 小宮房江
齋藤悦夫 坂本兵部 坂本かおり 佐々木茂 佐々木容子 佐藤有美 清水 潔 清水宏子 部 利勝
部 清江 片桐 修 片桐貴恵子 筒井克子 伊奈 聡 伊奈ちさこ 西海満希子 坂井太一郎
坂井教子 深谷春男 深谷美歌子 村松紀子 山根芳枝 横山義孝 吉本真理
(団体) 井草教会 柏教会 京都復興教会 京都復興教会祈祷会 京都復興教会婦人部
小松川教会 小松川教会伝道部 志木教会 清水が丘教会海外宣教会 洗足教会
喬木教会祈祷会 東京聖書学校吉川教会

会計監査報告書 (監査人:八重樫幸栄 氏)

佐々木良子宣教師を支える会殿

佐々木良子宣教師を支える会の2015年12月15日から2017年3月31日までの会計決算について関係書類、銀行預金、郵便貯金や郵便振替などを慎重に監査いたしました。
その結果、事業の執行および収支決算は適正に処理されており、支援団体としての会計が適性に維持管理されていることを認めました。
ここに報告いたします。

2017年7月9日

監査人 八重樫幸栄

事務局から

主の御名を賛美します。

宗教改革500周年記念の年、皆様におかれましては主のお守りと祝福のうちに歩んでおられることと思います。ニュースレター「ライン河畔より」第3号をお届けできる恵みを感謝いたします。いつも佐々木良子宣教師の主にある働きのために祈りと心からなるお支えをいただき、共に宣教の業に加わってくださることに深く感謝いたします。

3月には一年間の宣教活動を報告すべく、一時帰国し、全国の教会を巡回訪問いたしました。主のご栄光を共に拝したことを心から感謝いたします。その折には多くの教会、支援者の方々から献金をお献ぎいただきました。重ねて深く感謝いたします。

ここに1年半の会計決算報告とその監査結果、2017度第一四半期の会計状況及び2月～6月までに受領いたしました献金者名を掲載いたしました。ご不明な点がございましたら、会長までご連絡ください。心を寄せてくださっているお一人おひとりの上に主の恵みが豊かにありますように祈りいたします。

主に在って

2017年7月

佐々木良子宣教師を支える会

佐々木良子宣教師を支える会公式ホームページ

<http://www.ryokosasaki-missionary.com>

ケルン・ボン日本語キリスト教会ホームページ

<http://koelnbonn.jp/>

ケルン・ボン日本語キリスト教会フェイスブック公式ページ

<https://www.facebook.com/koelnbonnjp>

連絡先 「佐々木良子宣教師を支える会」

会長 物井恵一

〒134-0081東京都江戸川区北葛西4-3-9

小松川教会内

送金先 郵便振替: 00120-3-450845

銀行口座: 三菱東京UFJ銀行小松川支店

店番463 (普通) 口座 0113856

*上記口座名義: 佐々木良子宣教師を支える会 会長 物井恵一

*定期的支援 毎月一口1000円から・自由献金

佐々木良子ドイツ連絡先

Breslauer Str.26 50858 köln Germany

Tel : +49-(0)151-2910-6278

Email : r310130s@yahoo.co.jp